

2016年度の事業報告書
2016年7月1日から2017年6月30日まで

特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい

1 事業の成果

▼生命と自立を支える事業：

○わかちあいへの共感・庶民の善意を集めて、子どもの貧困・子ども食堂などに取り組む8団体に総額300万円の「わかちあい」（寄付）を実施した。

○これまでの寄付先（36団体）の活動や情報をサイトや通信で紹介し、継続的に現場からの報告や支援情報等を発信することに努めた。（有志が現場報告会などに参加）

○「きょうと地域カアップ応援フェア」にブース参加した。（東日本大震災の被災地・避難者支援品を販売）

○第7回「わかちあい祭り」を開催。困った時はお互いさまの気持ちをつなぐチャリティーライブ&バザーで広く市民来場者にアピール。避難者にブースを提供。子どもの貧困に取り組む団体の活動展示。寄付先現場からの報告、支援品等を販売。募金とバザーの売上げ合計210,619円は全額「子ども支援」の活動に寄付した。

▼情報などの事業：

ウェブサイト運営をつうじて情報交換や会員交流を促進し、わかちあいに関心する人のつながりを築いた。通信・メルマガの発行とともに事務局ブログを通して当会の活動や寄付先の現場からの情報を発信した。

▼全体として：発足から10年で寄付の総額は22,832,822円になった。

庶民の善意を集めれば大きな寄付・支援ができることを形にすることができた。

2 事業の実施に関する事項 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
情報などの交流を促進する事業	困った時はお互い様「わかちあい」の輪を広げる情報発信、交流を図るウェブサイト、会員ページ（SNS）の運営。メルマガ（月1回）、通信（年2回）の発行。	通年	法人事務所等	15人	不特定多数
生命と自立を支える事業	ドネ・プロジェクトを実施。子どもの貧困などに取り組む8団体に合計300万円を寄付。 沖縄・ももやま子ども食堂、こどもの里、豊能障害者労働センターに各50万円。 山科醍醐こどものひろば、豊島子どもネットワーク、キッズキッチン、CPAO、山王こどもセンターに各30万円。	2017、 2.21	法人事務所	5人	（支援団体を通じて支援） ○国内各地でこども食堂・子どもの居場づくりなどで、貧困や生活困窮でしんどい状況にある子どもたち親たちを支える活動。 ○障害者が地域で生きるための市民事業。
	きょうと地域カアップ応援フェアにブース出展（京都市主催）。被災地避難者の支援品を販売。	2017 3.12	京都市役所前 地下街「ゼスト御池」	5人	イベント来場者。 東日本大震災の被災地、避難者
	第7回「わかちあい祭り」を開催。チャリティーライブ&バザー収益と募金210,619円を全額寄付。	2017 5.4	京都市役所前 地下街「ゼスト御池」	30人	イベント来場者。原発事故避難者。子どもの貧困に取り組む団体。ミンダナオの子どもたち。